

教養〈社会人経験者〉

- (1) 日本経済の動向を諸外国と比較した次の記述のうち妥当なのはどれか。
1. 実質 GDP は緩やかな増加傾向にあり、2020年の実質 GDP の2000年に対する伸び率をアメリカ、イギリス、ドイツ、フランスの4か国と比較すると、日本の伸び率はアメリカに次いで高い。
 2. 平均賃金（購買力平価ベース）を見ると、日本は過去20年間伸び悩んでおり、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランスの4か国と比較すると、日本は最も低い水準が続いている。
 3. 労働生産性を労働時間当たりの GDP（購買力平価ベース）で見ると、過去20年間緩やかに上昇を続け、日本はG7諸国中でアメリカ、ドイツに次ぐ第3位となっている。
 4. 経済連携協定（EPA / FTA）の交渉で他国に出遅れたため、日本のFTA等カバー率（全貿易額に占めるEPA / FTA発効済国との貿易額の割合）は、過去10年間横ばいで推移し、アメリカや中国よりも低い。
 5. 経常収支の赤字が続いたことから、対外純資産残高は減少を続けており、その結果、日本はアメリカに次ぐ世界第2位の債務国になっている。

(正答 2)

教養〈社会人経験者〉

(2) 日本の国政選挙の制度に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. 選挙権と被選挙権はいずれも満18歳以上の国民に認められている。
- イ. 在外選挙制度が設けられており、外国に在住する日本国民も国政選挙で投票できるようになっている。
- ウ. 選挙運動には様々な規制があり、例えば、候補者はウェブサイトやSNSを利用した選挙運動を行うことが禁止されている。
- エ. 衆議院議員の選挙では小選挙区比例代表並立制が導入されており、小選挙区選挙では、各選挙区で得票数が多い上位2名が当選する。
- オ. 参議院議員の選挙では選挙区選挙と比例代表選挙が併用されており、このうち比例代表選挙では、有権者は候補者名又は政党名のいずれかを書いて投票する。

- 1. ア, ウ
- 2. ア, エ
- 3. イ, エ
- 4. イ, オ
- 5. ウ, オ

(正答 4)

教養〈社会人経験者〉

(3) a, b はそれぞれ3桁の正の整数であり, $b = 5a$ が成り立つ。また, a は11で割り切れ, b は7で割り切れる。このとき, a の各位の数字の和はいくらか。

1. 10
2. 11
3. 12
4. 13
5. 14

(正答 1)